

平成28年1月20日

南海電気鉄道株式会社

明治の現役駅舎が引退へ…
浜寺公園駅駅舎を仮駅舎に切り替えます

南海電鉄（社長：遠北光彦）では「南海本線（堺市）連続立体交差事業」（事業主体：堺市）の進捗に伴い、1月27日（水）の営業運転終了をもって現在の「浜寺公園駅駅舎」を閉鎖し、翌28日（木）の始発列車から、隣接して建設中の仮駅舎に切り替えます。

明治時代に建てられた現役駅舎として109年にわたってご利用いただいた現在の駅舎は、この日をもって引退の運びとなりますが、同事業において今後、新駅舎のエントランスなどとして保存活用される計画となっています。

<ご参考> 「南海本線（堺市）連続立体交差事業」について（堺市公式サイト）

<http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/rittaisuishin/rittaisuishin.html>

1. 仮駅舎の供用開始日

平成28年1月28日（木）始発列車から

※前日（27日）の営業運転終了をもって現在の駅舎を閉鎖します。

2. 浜寺公園駅駅舎について

浜寺公園駅は明治30年（1897）に開業。現在の駅舎は、東京駅丸の内駅舎などの設計で知られる辰野金吾博士が所属した辰野片岡建築事務所の設計によって、明治40年（1907）に建て替えられたものです。木造平屋建て、ハーフティンバー様式の美しい建物であり、平成10年（1998）には諏訪ノ森駅西駅舎とともに大手私鉄で初めて国の登録有形文化財として登録されました。

※駅の所在地：堺市西区浜寺公園町二丁188番地



浜寺公園駅駅舎（左は建設中の仮駅舎）

※平成28年1月7日撮影